

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称		令和8年度第2回食育推進会議
開催日時		R8年 7月 31日(金) 午前14時00分から 午前15時30分まで
開催場所		市立図書館2階研修室③
委員名		(1) 出席委員 梅木 陽子 城野 加代子 山村 裕一郎 花田 砂恵子 古和 隆彦 松尾 祥子 田島 勝彦 中島 美香 林 チヨ (2) 欠席委員 児島 由美
所管課職員職氏名		こども家庭部 部長 中村 雅美 子育て世代包括支援課 課長 朝長弘美 子育て世代包括支援課 保健指導係長 安部真理 子育て世代包括支援課 保健指導係 丸山 康子 子育て世代包括支援課 保健指導係 古谷菜々美
会 議	議 題 (内 容)	第3次福津市食育推進計画策定に向けて (1) 基本方針、具体的な取り組みについて (2) 指標について
	公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	0 名
	資料の名称	・資料1 第3次福津市食育推進計画策定に向けて (具体的な取り組み) (案) ・資料2 福津市食育推進計画指標 (経年変化) 国、市の指標比較
会議録の作成方針		☐ 録音テープを使用した全文記録
		☒ 録音テープを使用した要点記録
		☐ 要点記録

	記録内容の確認方法 梅木会長に確認
その他の必要事項	

審議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)
1. 開会の言葉 2. 部長あいさつ 3. 会長あいさつ 4. 議事 ・第3次福津市食育推進計画策定に向けて (1) 基本方針、具体的な取り組みについて (梅木会長) それでは、議事に入ります。 議事1「第3次食育推進計画策定に向けて」(1)基本方針、具体的な取り組みについて、資料1に基づき、事務局より説明をお願いします。 (事務局丸山) 資料1をご覧ください。基本方針、具体的な取り組みについてです。 前回の食育推進会議で皆さまにご意見いただいた箇所について、事務局および食育推進プロジェクト会議で再検討し異論ありませんでした。 青色の吹き出しが食育推進会議でご意見いただき修正した箇所、緑色の吹き出しが新たに食育推進プロジェクト会議で意見が出て追加した箇所になります。 青色の吹き出しについては、本会議でいただいた意見を修正反映させた箇所です。事前に資料も送付していただきましたので説明は割愛いたします。なお、4ページの青色の吹き出しの「食品廃棄物のたい肥化など有効利用を検討します」は、呼びかけますと間違えて記載していただきましたので「検討します」へ修正しています。 次に、緑色の吹き出しの箇所、食育推進プロジェクト会議で意見が出た箇所を説明します。 3ページ右上の緑色の吹き出し、③「地域での共食について関心を持ちましょう」の「共食」については、共食のイメージが具体的にわかりにくいという意見がありましたので、計画書やアンケートに例示します。 次に5ページの右上の緑色の吹き出し、「食育のイベント」についても同様の意見から計画書やアンケートに例示します。

次に5ページ下の緑色の吹き出し、「SNS等を利用した幅広い情報発信」については、市の公式HPで該当のページになかなかとりつけないという意見がありましたので、各課のイベントがホームページ等で見つけやすくなるような取組みをしていく予定です。

(梅木会長)

ただいまの件について、ご意見、ご質問のある方は挙手をお願いいたします。

(田島委員)

2点質問があります。まず1点目、資料1の2ページの1番下の赤字の部分ですが、「高齢者に栄養バランスの整った食事を提供します」とありますが、具体的に市が場所を設けて高齢者へ食事を提供するのですか。

2点目は、3ページの右側の「共食」の部分ですが、グリーンの吹き出しで「共食について例示します」と書いてあります。地域での共食について、どんな場があるかをここで例示をするということでしょうか。「地域での共食」という言葉と、「地域で共食」というのは、言葉のニュアンスが異なると思います。グリーンの吹き出しにあるように、共食について例示をするということであれば、「地域での共食」で良いと思っております。

(事務局 丸山)

1つ目のご質問、「高齢者に栄養バランスの整った食事を提供します」という部分について、市では、定期的に夕食をお届けする配食サービスを行っています。こちらは1食につき500円です。配達業者は3店で、申込みできる方は、65歳以上の一人暮らしなどで障害者手帳のある方や介護保険の要介護等認定をお持ちの方になっております。

2つ目のご質問、共食の例示についてですが、例えば、津屋崎ランチ、郷づくりカフェ、ワイガヤ食堂、なんでもソーメン流し、ありがたいの会等の地域の方が集まって共食する場がありますので、そのようなものを具体的に例示しようと思っております。

(梅木会長)

1点目にご質問のあった、「高齢者に栄養バランスの整った食事を提供します」については、前回も同様のご質問がありましたが、委員さんの中でも、気になる点ではあると思いますので、誤解がないような記載や注釈等が必要ではないかと思います。市民の皆様の目にふれたときにも、ご質問が多く寄せられるところだと思いますので、少し工夫が必要だと思いました。

それからもう1点、「地域で共食」と「地域での共食」について、「地域で共食」というと地域が主催しての共食という意味合いで、「地域での共食」となると、その場所を示している事に当たるかと思うのですが、今回は後者で、地域において設けられた共食の場に、関心を持ち、参加しようという意味合いで理解しておりますが、よろしいでしょうか。

(事務局 丸山)

大丈夫です。

(梅木会長)

10年経ったころには、「地域で共食」ということで、地域が組織立って運営していく等の取組が増えていくと良いのかもしれませんが、今回の計画の始まる段階では、「地域での共食」というところからスタートしていくということですね。

追加で、ご質問はないようですので、議事の（２）指標について、事務局より説明をお願いします。

(事務局 丸山)

資料2をご覧ください。左列が国の第5次食育推進基本計画の指標、その右列が国のR7の現状値、水色列が国の目標値、その右隣白色列のナンバーは、市の第2次食育推進計画の指標ナンバー、その右隣が取り組みを図る項目の指標、その右隣から、平成19年、平成27年、令和2年のアンケート結果、グレーが直近の令和7年度の結果です。その右隣の緑色列は第2次の目標値となっています。その隣の薄いオレンジ列が第3次の取り組み項目を図る指標案、黄色列が第3次の目標値（案）となっています。

なお、左端白色列の赤文字下線の部分は、市の第2次の取り組みを図る項目と国の文言が違う箇所、左端列の下から5行目からの下線がない赤文字は、市の指標にない箇所となっています。そして、オレンジ列の第3次指標（案）の青文字は、第2次と変更した箇所になります。

事務局案を設定する上では、国と比較するなど、達成度をはかれるか、また、他の計画との整合性を考慮し整理するとともに目標値が現状とかけ離れているものについては、目標値を見直しています。全体指標数を第2次は23件でしたが、第3次は可能であれば集約していきたいと考えています。

まず、指標ごとの説明をします。
では、オレンジ列の第3次指標（案）を上から確認していきます。

指標1、「生産者と交流体験をしたことのある市民および小学生の割合」は、第2次目標は市民50%に対し、令和7年の結果は28.5%でしたので、現状値に近づけ30%以上にしました。同じく小学生は第2次目標値80%に対し、現状値は42.1%でしたので50%以上としました。

指標2、「毎日の食事に、旬のものや地元産の食材をよく使う市民の割合」は、第2次目標70%に対し、現状値は46.9%でした。また、県産品と注意書きをいれるので、現状値の46.9%より多く60%以上としました。

指標3、「学校給食における地元産（市内および宗像農協管内）の県産農

「林水産物の食材の品目数」は、第2次の指標では重量ベースでしたが、学校給食では現在、重量ベースではデーターがなく、福岡県農林事務所へ6月と10月のそれぞれ5日間の県産農林水産物の食材の品目数を報告しているデーターがありますので、そのデーターを指標で見たいと考え、修正しています。なお、令和7年度の福津市の食材の品目数は30%超～40%という結果でしたので、目標値を40%以上としました。

指標4、「野菜を1日3皿以上食べている市民の割合」については、第2次では「野菜を毎食食べることを心がけている若い世代の割合」でした。R2まではアンケートで「毎食野菜を食べることを心がけているか」と聞いていましたが、R7年度のアンケートでは「毎日野菜を何皿程度食べているか」を聞くことへ変更しました。経年比較するため、指標を皿数へ変更しました。また、若い世代から市民へ変更しました。R7の現状値は若い世代で28.3%、全世代では35%でした。第3次の目標値は市民とするため40%以上としました。

指標5、「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事をするよう心がけている若い世代の割合」は、指標10の市民と一緒にします。

指標6、「自分だけで料理をすることができる子どもの割合」は、第2次の目標値は小中学生共に75%でしたが、R7の現状値は小学生85.5%と中学生87%と上回っていましたので、第3次の目標値は90%以上としました。

指標7、「朝食を毎日食べる子どもの割合」は、第2次目標値100%に対し、R7の現状値は小学生93.2%、中学生86.8%でしたので、第3次の目標値は100%に近づけるとしました。

指標8、「朝食を毎日食べる市民の割合」は、第2次では「若い世代の割合」でしたが「全世代」へ変更しました。第2次の目標値は男性75%以上、女性85%以上に対し、R7の若い世代の現状値は男性56%、女性81%でした。そして、市民でみると男性69.1%、女性83.5%でしたので、第3次の目標値は、男性75%以上、女性85%以上としました。

指標9、「適塩を心がけている市民の割合」は、第2次では「減塩」でしたが表現を変更しました。なお、オレンジ冊子にあるH27の62.4%は、健康ふくつ21の結果で、「心がけている」割合でしたが、R2からは、食育アンケートの結果で「実践している」割合をみているため、経年変化でみることが難しい箇所です。

第3次指標としては、食育アンケートで経年比較するため、「適塩を実践している市民の割合」へ修正しました。

指標10、「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事をするよう心がけている市民の割合」は、第2次の目標値は85%以上に対し、R7の現状値は36.5%

でしたので、第3次の目標値は40%以上としました。

指標11、「適正体重を維持している市民の割合」は、H27は、特定健診受診者の割合で出していましたが、R2からは、食育アンケートで「生活習慣病や改善のために、普段から適正体重の維持に気をつけた食生活を実践しているか」を問い、「いつも気をつけて実践している」と「気をつけて実践している」と回答した市民の割合を出しています。第3次の指標は、これに合わせ「適正体重の維持に気をつけた食生活を実践している市民の割合」と修正しました。なお、令和7年度の結果は、男性51.5%、女性60.4%でしたので、第3次の指標は男性55%以上、女性65%以上としました。

指標12、「よく噛んで食べることができる高齢者および子ども市民の割合」は、高齢者および子どもを削除し、「市民の割合」へ修正しました。R7の市民の割合は50.2%でしたので、第3次の目標値は55%以上としました。

指標13、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつを必ず言う市民および子どもの割合は、「必ず」を削除し、よく言うも含めることにしました。そうすると、R7の現状値は市民78.1%、小学生89%、中学生91.5%でしたので、第3次の目標値は、市民は80%以上、小中学生は100%に近づけるにしました。

指標14、「朝食または夕食を家族一緒に食べる「共食」の回数」は、第2次の目標値週に10回以上に対し、R7の現状値は10.1回でしたので、第3次の目標値は同じく週に10回以上としました。

指標★24、「地域等で共食したいと思う人が共食する割合」を国に合わせ指標に追加しました。これは、1人暮らしの人も増加しているため加え、目標値も国に合わせ75%以上としました。

指標15、「行事食を年5回以上行っている家庭の割合」は、家庭で5回以上は難しくなっているため、国に合わせ「郷土料理や伝統料理を月1回以上食べている市民の割合」へ変更し、目標値も国に合わせ、60%以上としました。

指標16、「伝統料理や郷土料理を知っている市民および子どもの割合」は、第2次の目標値は市民90%以上、小中学生80%以上に対し、R7の現状値は市民82.8%、小学生81.5%、中学生82.8%でしたので、第3次目標値は全て85%以上としました。

指標17、「食に関する作法や望ましい食生活に関心のある人の割合」は国も指標にはあげてないことより、削除しています。

指標18、第2次は「食品表示を必ず確認する人の割合」でしたが、第3次

では「必ず」を削除し、「いつも」及び「時々」も含めるにしようかと修正しました。これを含めるとR7の現状値は77.2%となるため、第3次の目標値を80%以上としました。

指標19、「食べ物を無駄にしないように取り組んでいる市民の割合」は第2次の目標値80%以上に対し、R7の現状値は98.8%でしたので、第3次の目標値は100%に近づけるにしました。

指標20、「食育のイベントや活動に参加した市民の割合」は第2次の目標値20%に対し、R7の現状値は13.1%でしたので、第3次の目標値は15%にしました。また、アンケート結果では「イベントを知らずに参加できなかった」との回答も多かった箇所ですが、現在、市のホームページ等で食のイベントの周知等をしていて参加者は増加しているところもありますので、アンケートで「食育のイベント」が何かわからない方もいらっしゃるかと思いますので、次回からはアンケートにイベント例を記載したいと思います。そして、さらにイベントの周知が市民の皆様に届きやすいよう工夫していきたいと思っています。

指標21、「食育イベントや活動が開催されることを知らずに参加できなかった市民の割合」は、食のイベントに関する指標が続くこともありますし、指標としては削除する案で出しています。

指標22、「食育活動を楽しんで実践している市民の割合」は、各イベントにおいてアンケート等で把握することもありますので、指標としては削除する案で出しています。

指標23、「食育に関心のある市民の割合」は、第2次の目標値は90%に対し、R7の現状値は88.1%であったので、第3次の目標値は90%以上としました。

以上になります。

(梅木会長)

目標値と取組の効果を測る指標についてご説明がありました。皆様から1つ1つの項目でも構いませんし、全体を通してでも、構いませんが、ご質問やご意見がございましたらお願いいたします。

まず私のほうから皆さんと共通の認識を持ちたくて質問させていただきたいのですが、先ほどの議題1(1)のところでは、第3次基本計画の方針や取組について話したところですが、それらとこの指標との関係についてご説明いただきたいと思います。

指標については、集約の方向性とのことですが、基準値となっているH19年時点の時に現在の指標が策定され、基本的には大きく動かさず、定点で見えていくのが指標だと理解しております。指標と先ほどの基本計画との関

係について、共通で理解したいと思いましたので、ご説明をお願いします。

（事務局 丸山）

オレンジの冊子の17ページを開いてください。ここに「元気な地域をつくる」とありますが、こちらが資料1の1ページ目、左から2列目のところに書いてあります。第2次の基本方針の部分ですが、「食を通して地域を知る」というのがこの17ページの1番のところになってきます。

そして、17ページに行動目標とありますが、資料1の右から2列目の白色の列、行動目標みんなができることと同じものが記載してあります。資料1では、具体的な取組、市の取組と続いていますが、これは17ページに記載してあるものになっております

最後に、17ページ下に指標がありますけれども、これが第2次の指標、1番のところに入ってくる項目であり、同様に18ページは、基本方針「地元でとれたものをおいしく食べる」の取組や指標が記載してあります。第3次では指標を見直したところもありますが、それぞれの項目に指標は入っております。

（梅木会長）

オレンジの冊子のところで、第2次計画では各項目のところに指標がありますが、第3次も基本方針に対し、漏れなく指標を割り振ることができるようになっているということですか。

（事務局 丸山）

はい。そうです。

（梅木会長）

資料1の4ページで「災害時に備えた国民の備蓄等の知識を普及する」が追加されています。これは市が行う取組の1つとして書いてあるということで、大きくくりとしては、「食に関する正しい知識を身につける」の部分に入ってくるというところですよ。

（事務局 丸山）

はい。

（梅木会長）

オレンジの冊子でいきますと、28ページの具体的な取り組みの部分の市のところに災害のことが今後追記されるということですよ。第2次のときは指標として、「食品表示を必ず確認する市民の割合」となっていますが、第3次でも、資料2の指標18「食品表示を確認する人の割合」が指標となっており、災害や備蓄に関しては、指標までは作っていないところになりました。ということは、これは平成19年度当初から食品表示を確認するということをして、「食に関する正しい知識を身につける」の指標として取り扱って、経年的にずっと追ってこられたということですよ。今回集約して

いく方針で、見直しが図られていますが、反対に増やした指標はありませんか。

（事務局 丸山）

資料2の星印をつけている24番の指標で、「地域等で共食したいと思う人が共食する割合」が増えた指標になります。

（梅木会長）

順番が24で下ではなく、関連するところに挿入されているので、資料2の裏面の17の下に星印24としている部分が、今回指標として新たに立っているということですね。指標については、大きく変えないという方針で見ていくものだと思うのですが、まずはアンケートの数値を確認するレベルとして、今後、指標に挙げたほうが良いと判断できるときに、指標にまた加えていくということによろしいでしょうか。

（事務局 丸山）

はい。

（梅木会長）

1つの基本方針について、様々な取組項目があげられていますが、それぞれの中で指標としては、1つか2つが上がっており、その指標について事務局よりご提案いただいたものでよいか、ということが共通で理解したかったところです。修正や、ご提案どおりでよろしいかご意見がありましたらお願いいたします。

（山村委員）

目標が男女で分かれている指標があると思うのですが、近年、アンケート等は男女を問わない場合もあるので、大丈夫でしょうか。

（事務局 丸山）

小中学生に関しては、男女を聞かないようにしています。ただ、大人の成人に関して、特に朝食の摂取率については、男女差が大きく、働き方や、家庭環境などの違いがあることが、差につながっているのかというところも確認したい部分ではあります。経年で比較もできるので、残しています。

（梅木会長）

他に男女で分かれているところは、適正体重・生活習慣病関連の部分ですが、女性では若年者の痩せの問題があったりするので、男性と女性と分けて、指標として見ていたほうが良いだろうということで、分けているところです。

（田島委員）

1 ページの 4 番。野菜を 1 日 3 皿以上食べている市民の割合とありますが、3 皿というのは、例えば、レタスとキャベツとトマトとかでも良いのでしょうか。内訳と内容について教えてください。

(事務局 丸山)

3 皿についてですが、小鉢 3 皿というような意味になりまして、例えばみそ汁、ほうれん草のお浸し、野菜炒め等を、それぞれを 1 皿として考えます。アンケートでも分かりにくい部分になると思いますので、例示を入れる予定にしています。

(田島委員)

野菜が入っている料理ということですか。

(事務局 丸山)

はい。

(梅木会長)

指標の書き方について、野菜料理を 1 日 3 皿以上みたいに変えたほうが良いかもしれないですね。野菜 3 皿について補足させていただきますと、国では、野菜摂取量の平均値を指標として追っており、令和 6 年度は 258.7 グラムと数値が出ております。これは、何を何グラム食べたかを計測する食事調査により結果が示されています。福津市の食育アンケートに関しては、食事調査を行っていませんが、量的な情報を得るために、野菜料理 3 皿以上という指標を立てています。

具体的には、1 日野菜 3 皿で良いというわけではなく、野菜 1 日 350 グラムですと 7 皿ぐらいは摂ることを目指したいところですが、指標として 3 皿以上と少し低めに設定しております。

指標の皿数について、1 日野菜 350 グラムを目指すということで、7 皿にするのか、1 食当たり 1 皿ずつからまず目指すということで、3 皿にするのかということになります。元々平成 19 年の頃は指標がなく、第 2 次から「野菜を毎食食べることを心がけているか」と設定されている部分ですので、量的な部分を指標として取り上げるのは今回が初めてとなりますが、定点で今後も追っていく場合に、この指標でよいでしょうか。

アンケートでは、何皿とっているかという聞き方なので、7 皿とっている人、5 皿とっている人の人数を出すことはできます。当面 40%以上の目標値が達成できたかどうかだけでなく、野菜 350 グラム以上摂れている方がどれくらいいるかというのは分かる調査になっています。

指標としては、1 食 1 皿は摂ろうということで 3 皿以上に設定し、しばらくは見ていくということですが、よろしいでしょうか。

(林委員)

野菜 3 皿以上食べている市民の割合について目標値 40%にしましょうって言われても、全然ぴんときないです。テレビや健康講座や講演会で、野菜は 1 日 350 グラム以上とりましょうと言われるので、グラムだとイメージがわ

きますが、皿数にすると、豆腐とネギが少しのみそ汁も、ほうれん草のお浸しの小鉢でも1皿になるので、個人によって開きが大きくなると思います。グラム表示のほうがイメージしやすいので、指標を野菜1日350グラム以上摂りましょうにするのはいかがでしょうか。

(梅木会長)

経過を追っていくためのアンケートでは、野菜を主材料としている料理を1日何皿摂っているかについて聞いております。

(林委員)

食育計画に載せる時に、1日3皿以上で目標値は40%というような文言を使うということではないのでしょうか。

(梅木会長)

今日、事務局より提案されている3皿以上食べているという言葉は、アンケートで使用している言葉になります。

(林委員)

アンケートだけの言葉ということでしょうか。

(梅木会長)

今回は指標として提案されているので、350グラムのほうが耳馴染みもあり、受入れやすいということだったら350グラムに変える方法もあるかと思いますが、350グラム以上のイメージは、つく方とつかない方がいらっしゃると思います。普段料理をしている、食材をはかったことがある方、または健康講座などで見たことがある方は、350グラムのイメージがつくと思いますので、どちらを優先するかというところで、福津市としては皿数でいくというご提案されています。この会議は市民の皆様に伝わりやすいかというところの確認会議でもあるので、指標として350グラムと言ったほうがしっくり来るということでしたら検討が必要だと思います。ご意見をいただいて、耳なじみのある350グラムと、この3皿は、同等なのか、それとも少なくとも良いことを推奨しているのかというところが見えにくくなるころだと思いますので、検討が必要かと思いますがどうでしょうか。

(事務局 朝長)

資料1の2ページ、上段、オレンジ色の列の第3次行動目標、みんなができること、⑤毎日野菜を食べましょう、1日350グラム⑥毎日果物を食べましょう、1日200グラムというように、市民の皆様に行動の目標としてやってほしいこととしては、この数量で記載する予定です。

今私が読み上げたところは、オレンジの冊子、19ページの行動目標に、今現在も、①毎日野菜を食べましょう。目標は350グラムです、というように記載してあります。1日3皿以上に設定していることについて、どのくらいの方が、少なくとも、最低ラインと思われる3皿以上摂っているだろうか、というのを指標にしたいというのが事務局案です。オレンジの冊子では20ペ

ージに記載があり、現在は、「野菜を毎食食べることが心にかけている若い世代の割合」を指標として試しています。この指標は、少しの量で3皿食べても、心がけてさえいれば、「はい」と回答することができ、本当に食べていなくても心がけてさえいれば拾う指標になっています。それを今度の案では、心がけているだけではなく、具体的な行動を伴う指標にしたいと考え、「野菜を1日3皿以上食べている市民の割合」と提案しています。

ですので、計画書には350グラムが目標ということは明記する予定です。

(梅木会長)

これまでも指標は、心がけというところで、350グラムの目標に対してはややトーンダウンの指標をとっていたようですが、次の指標として具体的な1日、毎食1皿ということで、設けられているということですね。

今回そのオレンジ冊子のほうでは指標まで載りますが、概要版は作成する予定ですか。

(事務局 朝長)

概要版は現在と同じ作りにすると、指標は載らず、みんなが取り組むこと等のみが載ります。

(梅木先生)

概要版が作成される場合は、1日の野菜摂取の目標が350グラムであることが市民の皆さんの目に最もふれるということ、野菜摂取の最低のラインが達成できているかを確認するために指標を設定しているので、この指標が1日毎食1皿野菜料理を摂れば良いというメッセージではないというご説明でよろしいでしょうか。

(事務局 朝長)

はい。

(中島委員)

3皿に、カッコ目安350グラムというような記載はできないでしょうか。人によって1皿の量が違うのが気になります。

(林委員)

皿でカウントすると個人差もあり、グラムのほうが分かりやすい人もいるかもしれません。概要版の目標では1日350グラムと書いてあり、計画書には、1日3皿以上と書いてあると、3皿とればいいのかというふうに受け取る人もいるかもしれません。

(古和委員)

私は350グラムも1皿も、正直イメージがつかないです。350グラムの写真でもあれば、1日でこのくらい食べれば良いというイメージが目に入るので理解しやすいです。若い世代や料理をしない人にとっては、わかりやすいと思います。

(梅木会長)

皿で数えている理由について、国で食べ方の指標として、食事バランスガイドというものが作られています。これは、料理の皿数で、1日にどれくらい食べたらよいかというのを視覚的に見える教材として開発されています。そこから、アンケート等の聞き方として、主食主菜副菜を揃えとるとか、野菜料理何皿というのが出てきています。350グラムは、文言として残っていますが、全員が理解しやすいレベルというところで、国が整理している教材に沿った形で皿数を採用して、野菜料理を3皿以上という書き方になっています。ただ、350グラムと3皿が同等でないということが分かっていたるように、「少なくとも3皿」のような表現に変更するかについては、事務局で再度ご検討いただければと思います。

他には、ご意見ございませんでしょうか。

(中島委員)

バランスガイド等を計画書には載せられないのですか。

(事務局 丸山)

バランスガイドについては、第1次計画には計画書に載せていましたが、浸透も難しく、小学校などは違うものを使用しているので、第2次計画からは載せていないです。

(梅木会長)

写真や図があればわかりやすいということからのご意見かと思います。実際に取組をするときには、具体的な写真や、実物の教材を使い、料理をされない方もイメージしやすいような形で、今後も行っていきたいと思います。

その他の指標について意見はございませんか。

(委員全員)

賛同

(梅木会長)

議題1の2は、以上とさせていただきます。

(林委員)

1つ質問よろしいでしょうか。このオレンジの冊子についてですが、どのように市民に配布したのでしょうか。今回計画を作成して、どのような形で配布し、各世帯や自治会にどのように活用していただきって説明する予定なのか教えてください。

(事務局 安部)

こちらは市の計画になりますので、一括各戸に配布しているものではありませんが、今後食育を進めていくに当たっての方針になりますので、市の計画として、ホームページ等で閲覧できるようにします。

また、前は製本費を使って印刷をしていましたが、今回はその予定はありません。

(林委員)

わかりました。

(梅木会長)

これで本日の予定は全て終了いたしました。

(事務局 安部)

本日の会議録につきましては事務局で作成し、梅木会長にご確認いただいた後、委員の皆様へお送りしたいと思います。

次回の会議は、10月2日の金曜日、午後2時からを予定しております。会議の場所については後日ご連絡いたします。委員の過半数の出席が必要です。ご都合が悪い等がございましたら、事務局までご連絡をお願いします。

今回は、計画の形にした素案をご確認いただく会議になります。その後について、庁内会議や議会に提出し、市民意見公募のパブリックコメントを年明けに実施します。パブリックコメントの意見があれば、その意見をどのように計画に反映するか、それともご意見としてお聞きするにとどめるかの判断等を、またこの会議でご検討いただきたいと考えております。

今後の予定は以上になります。